

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アイリー西宮		
○保護者評価実施期間	令和7年1月20日		～ 令和7年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月27日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・室内や屋外の活動・外部から専門の講師(チアダンス・ボウセラーズ等)の活動・季節のイベント活動を取り入れており、様々な経験ができる。 ・子ども達の「やりたり」「やってみたい」の気持ちを大切に、チャレンジできるよう工夫している。	・毎週土曜日及び長期休暇時には外食活動・お買い物学習・公園(水遊び)・制作活動・地域イベントの参加・工場見学等、様々な活動を取り入れている。 ・季節のイベントでは、事業所内(尼崎)と合同で夏祭り・運動会・クリスマス会などを行っている。 ・子ども達の意見を活動に取り入れている。	今後も継続して子どもたちが楽しめるよう工夫しながら、様々な活動を取り入れていく。 子どもたちが自ら発信できる環境作りや、「やりたい」「やってみたい」の気持ちを引き出せるよう努める。
2	・アットホームな一軒家なので、子ども達が自宅のような安心感で過ごすことができる。	・学習部屋と集団部屋を分けて活用している。ハンモック・ソファ・テレビ部屋などでリラックスできるスペースも確保している。運動では、トランポリン・ボルダリング・ジャングルジムがあり身体を動かすことができる。 他、制作(レジン・プラバン・アイロンビーズなど)・トランプゲーム・玩具も多数あり、子ども自身で選べるよう工夫している。 ・隣接の公園では自転車練習・縄跳び・ボール遊び(サッカー・野球)などを定期的に行っている。	安心感をもって過ごせるよう、アイリー西宮に行きたいと思っただけのように、日々職員同士のコミュニケーションや子どもたちとコミュニケーションを取り合い、より良い支援を提供できるように努める。
3	Instagram(鍵アカウント/保護者様のみ閲覧)を開設し、日々子ども達の様子を保護者様に発信している。	・日々の活動状況・様子を動画で発信している。 ・運動会ではリアルタイムでライブ配信を行い、子どもたちの頑張りや、楽しんでいる様子を保護者様に共有できるよう工夫している。 ・活動状況により更新頻度が曜日によって偏りがありますが、日々更新できるよう努めている。	今後も発信を続け保護者様に安心していただけるようにする。お子様の様子を見て、成長を感じられるような動画を発信していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・避難訓練の周知ができていない。	避難訓練の実施日が事前に伝えられておらず、参加できる利用者が限られてしまう。	防災月間を年2回(8月・1月)とし、事前に避難訓練のお知らせを行う。
2	・玄関の段差 ・階段	玄関の段差、階段では子どもたちが多めに混雑してしまい、怪我等のリスクがある。	玄関の段差や、階段の上り下り時の介助、見守り、声掛けを常に行うなど、安全に過ごせるよう努める。
3	・家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供を行っていない。	ペアレント・トレーニングを行う知識が不足している。	要望があれば、検討していく。